

■井上播磨 古浄瑠璃の太夫。竹本義太夫に大きな影響を与えた浄瑠璃史上の重要人物。

いのうえはりまのじょう

徳川秀忠没・1632= 京都で、御所の御簾作りの家に生まれる。本名井上市郎兵衛。

家光鎖国完成1641= 9歳：

音声たくましく、

御蔭参流行・1650=18歳：

徳川家光没・1651=19歳：

浄瑠璃を学んで一流を編み出し、

明暦の大火・1657=25歳：

人身売買禁止1658=26歳：*受領して、大和少椽藤原貞則と称する。正本として知られる最も古い「紅葉狩」。大坂に在住し、

朱舜水帰化・1659=27歳：

・・・・・・1660=28歳：*この頃から金平物を語り始め、

江戸の和泉太夫(丹波少豫)のものを取り入れ、独特の曲節で語って人気曲となった「菅原親王」「きん平生捕問答」「公平甲論」はじめ、

酒井忠清大老1666=35歳：

足利学校再建1668=36歳：*この頃まで多く語る。

・・・・・・1670=38歳：名を勝則と改めて、播磨少椽を再受領し、

・・・・・・1674=42歳：*この年藤原要栄と名のって刊行された「忍四季揃」は浄瑠璃段物集の嚆矢。この年没した説あり。

・・・・・・1676=44歳：この年没した説あり。

・・・・・・1677=45歳：

徳川綱吉將軍1680=48歳：

出世景清初演1685=53歳：没した。

語り物は百余番もあったといわれるが、正本として知られているものは約五十篇である。